

## ジーナ・レモンド商務長官と萩生田光一経済産業大臣との共同声明（仮訳）

2021年11月15日

ジーナ・レモンド長官と萩生田光一大臣は、2021年4月に日米首脳で合意した「日米競争力・強靱性（コア）パートナーシップ」で示された指針のもと、日米経済関係の深化について、幅広い意見交換を対面で行った。長官と大臣は、イノベーションの推進、競争力の強化、気候危機への対応というコアパートナーシップの目標に焦点を当て、世界の経済成長をリードする上での両国のパートナーシップの重要性を認識し、幅広い分野で協力し、二国間の貿易・投資をさらに向上させ、両国の経済を強化する商業・産業関連の活動に注力することを約束した。

このため、長官と大臣は、「日米商務・産業パートナーシップ（JUCIP）」の設立に合意した。商務省と経済産業省は、JUCIPを通じて、両国経済の競争力、強靱性、安全保障を強化し、気候変動など地球規模の共通課題に対処し、繁栄を成し遂げて自由で公正な経済秩序を維持することを約束する。長官と大臣は、これらの共通の目的を推進するために、インド太平洋地域を含め、志を同じくする他のパートナーとの関わりを歓迎する。

具体的には、JUCIPは、商務省のSelectUSAや日本貿易振興機構のJ-Bridgeプログラムなどを通じて、両国の民間部門の間での投資を促進し、協力を活性化する活動を開始する。また、JUCIPは、デジタル技術や先端技術などの分野におけるイノベーションを推進する。JUCIPは、半導体、5Gおよびその他の重要な産業分野におけるサプライチェーンの強靱化を促進し、重要技術の保護とインフラ開発における協力を強化し、不公正な貿易慣行に対抗するために市場歪曲的な措置に対処する。グリーン成長と、経済と環境の間の好循環の創出に対する共通のコミットメントを反映して、JUCIPは、クリーンエネルギーおよび関連技術の開発と利用の促進に優先的に取り組む。

長官と大臣は、両国の強固で活気ある商務・産業関係をさらに発展させることを念頭に、2021年4月にコアパートナーシップにおいて確認された日米関係の広範な目標を前進させる商業的に意味のある成果を達成するために、JUCIPの下で積極的にステークホルダーの関与を確保し、強固な関与を維持することも約束した。